



令和6年8月31日

まだまだ残暑が続きますが、時折吹く風が涼しく感じたり、朝、晩が過ごしやすく感じられるようになってきました。今まで猛暑続きで戸外で遊ぶことが出来なかったこともあり、「外で遊びたい」という声がたくさん聞かれていますので、涼しい時には戸外でも体を動かして遊んでいきたいと思ひます。

これから運動会に向けての取り組みが始まったり散歩に出かけたりと、戸外に出る機会が多くなってきます。また、気温の変化、夏の疲れから体調を崩しやすい時期でもありますので、食事、睡眠をしっかりとり、生活リズムを整えて健康に過ごせるようにしていきたいと思ひます。



9月1日は「防災の日」は、大正12年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れないため、そして秋に集中する台風への心構えをするために制定されました。また、立春から数えて「210日目の雑節」では稲が開花する大事な時期に台風が来やすいため、古くから農家の厄日として警戒されてきました。台風や地震等の天災が多く聞かれる昨今です。今一度災害への備えをご家族で確認して頂く機会を設けてみてはいかがでしょうか？

※家具の転倒防止や配置の確認

※防災マップで確認

※避難リュックの中身の点検

※ご家庭の備蓄品等の賞味期限の確認



・運動会に向けての練習が少しずつ始まります。**外靴(2・3・4・5歳児は2階用の靴)のサイズの確認**をして下さい。

・体操教室やサッカー教室、運動会の総練習の日は動きやすい服装で登園して下さい。

・現在提出して頂いている『**子ども医療助成受給者証**』の有効期限が**9月末日**になっています。新しい受給者証が届きましたら、

10月11日(金)までにコピーを提出して頂きますようお願いいたします。

おねがい



9月

- 4日(水) サッカー教室(5歳児)
- 5日(木) まなびタイム(5歳児)
- 10日(火) 避難訓練
- 12日(木) 科学(5歳児) ※フリー参観日
- 13日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 18日(水) サッカー教室(4歳児)
- 19日(木) まなびタイム(5歳児)
- 20日(金) 誕生会
- 26日(木) プール納会
- 27日(金) 体操教室(3・4・5歳児)

- 2日(水) 誕生会 内科健診(15:00~)
- 3日(木) まなびタイム(5歳児)
- 4日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 8日(火) 食育「だし・おにぎり作り」
炊き出し訓練
- 11日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 19日(土) 運動会 ※雨天時は26日(土)
- 29日(火) 4歳児親子遠足
- 30日(水) 避難訓練
幼年消防入団式(4・5歳児)
- 31日(木) まなびタイム(5歳児)

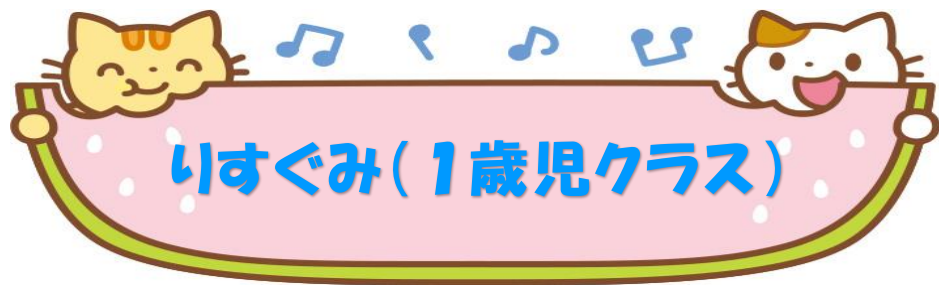
10月

【 運動会総練習 】

0・1・2歳児→ 10月1日(火)、10月10日(木)

3・4・5歳児→ 9月25日(水)、10月9日(水)、10月16日(水)

※.....線の日にはカメラマンが入ります。



いすぐみ(1歳児クラス)

- (ねらい) ・季節ならではの遊びに触れながら遊ぶことを楽しむ。
 ・保育教諭や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。



・体調に合わせてシャワーや水遊びなどを取り入れ、水に触れて遊ぶ機会を設けてきました。始めはドキドキする様子もありましたが、無理なく親しめるようにしてきたことで、一度水に触れるとすぐに慣れてジョウロに水を入れたり水が頭にかかることを喜ぶ姿が見られるようになりました。

・友達の姿を知らせたり、保育教諭が仲立ちをしながら一緒に遊べる環境を作ってきたことで友達との関わりが増え、隣に座って簡単なやり取りをして笑い合ったり、友達の真似をして遊ぶとする姿が見られるようになりました。今後も関わりを深められるように働きかけていきたいと思っています。




ぞうぐみ(4歳児クラス)

(ねらい)

- ・夏の過ごし方を知り、季節感のある遊びを楽しむ。
- ・相手の思いを受け入れたり、自分の思いを伝えたりすることで友達との関係性を深める。



・水分補給や休息の時間を設けたり、シャワーで汗を流したりすることで快適に過ごせるようにしてきました。プールでは、水の気持ち良さを味わいながら、友達や保育教諭と水を掛け合ったり、座ってバタ足競争をしたりと歓声を上げて楽しむ姿が見られました。色水・泡遊びの場も設け、様々な色水を混ぜて色の変化を楽しんだり、泡の感触を楽しみつつ色水の上に乗せてかき氷等に見立て工夫して遊ぶ姿がありました。今後も気温に応じて戸外や室内で楽しめる夏ならではの遊びを取り入れていきたいと思っています。

・夏祭りという大きな行事をみんなで乗り越え、友達同士の関係性や団結力が深まる姿が見られてきました。一方で、些細な意見の食い違い等から小さなトラブルに発展してしまう場面もある為、保育教諭が仲立ちに入り、お互いの気持ちを伝え合う場を設けたり、友達の気持ちに気付けるようさり気なく知らせたりすることでより友達との関係性を深められるようにしてきました。徐々に、保育教諭が側で見守る事で自分達で話し合っ解決する姿も増えてきました。今後も友達への思いやりの気持ちを育めるよう働きかけていきたいと思っています。